



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2014年冬号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。



1 今昔ペデ南下旅

—連載最終回！ぐぐーっと南下して、今回はメディカルセンター～つくばセンターです。

2 筑波大学への思い

—あっという間の留学生活。筑波大学での生活を四季を通じて振り返ってみます。

3 宿舎ニュース

—衝撃ニュース！まさか宿舎のお風呂がこんなことになるなんて…！—ノ矢民の運命やいかに…！？

4 魅力満載！筑波山登山

—体当たり登山レポートです！山頂からの絶景は必見！でもその後の事件の方が衝撃的かも。。。

5 ゆるっと、つくば～癒され手帖～

—こちらも連載最終回！ちょっぴりセンチメンタルな気持ちになります。

1 今昔ペデ南下旅



皆様、明けましておめでとうございます。

この冬は例年より寒い冬となっていますね。卒論を提出してすっかり気の抜けた私は、安堵と寒さにやられて風邪を引いていましたが、皆さんは元気にお過ごしでしょうか。

南下旅もこれが最終回となります。今回はつくばセンターまで一気に南下して、ゴールを目指します！

まずはメディカルセンター近くです。今ではすっかり冬の装いですが、春になると桜が満開になります。毎年見ても本当にきれいで、ここでよく写真を撮った思い出があります。この道では、いろいろな人を見ます。小さなお子さんを連れて歩く家族の姿、ペットを連れて散歩する人、自転車で颯爽と走る大学生の姿…。私にとっては、少し心を落ち着けたいときに歩くちょっと特別な道ですが、他のみなさんにとってはどのような場所なのでしょうね。



このあたりのペデには、「ロボット実験区間」という立て看板がちらほら見られます。正式には「モビリティロボット実験特区」と言うそうで、新たなロボット産業の育成に向けた実験を行っているようです。私もセグウェイに乗った人たちを何度か見かけたことがあり、その度に不思議に思っていました。そのような試みがされていたのですね。まだまだ知らないことがたくさんあります。試乗会も開催されているらしいのですが、何でも1か月前には予約が埋まってしまうほどに人気だとか…。

春にはこのように桜が満開に。今年も楽しみですね。

(興味を持った方はこちらへ！ → ロボットの街つくば <http://www.rt-tsukuba.jp/>)

ペデを進むと、つくば市立図書館やつくばエキスポセンターが見えてきます、図書館は何度か利用したことがあるのですが、実は私、エキスポセンターにはまだ行ったことがないのです…。近いからいつでも行けるだろうと思っていたら、もう卒業目前です。近いうちに遊びに行こうかな。プラネタリウムで癒されて来ようと思います。



エキスポセンター(左)と、市立図書館近く(右)の写真。
 広々と解放感ある場所で、清々しい気持ちになります。
 この日は天気良くてとても気持ち良かったです…。

いよいよゴールが見えてきました。つくばセンターです。

年末のクリスマスシーズンから年明けのしばらくの期間は、ペデの木々がライトアップされています。とても綺麗です。毎年この景色を写真に収めている人をたくさん見るのですが、今年は例年に比べて多い気がする…。とっていたら、どうやらある携帯会社のCM撮影がセンターで行われたのだそうです。それを知っていて皆さんは写真を撮っていたのですね。一足出遅れた私は早速、テレビ番組の合間もCMをくまなくチェック。すると、見覚えのある光景がテレビに映ったのです！自分が住んでいる街をこのような形で見るのは新鮮でもあり、なんだか嬉しくもあります。つくばはこんなに素敵なおとろなんだよと、思わず友人に自慢してしまいました。



この南下旅を始めてから、早いもので約2年半になります。とても楽しい旅でした。今、つくばを離れて生活されている方も、たまにはぜひ、つくばへ遊びにきてください！その時には、私の記事のことも少し思い出して頂けたら、嬉しいです。

では、ここまで読んで下さった皆さん、ありがとうございました！



現在のつくばセンターの様子です。
次はぜひ、この景色をみなさんの目で！

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ)

2 筑波大学への思い



日本に留学してから、今年が4年目になりました。その同時に、私ももうすぐ卒業になります。最近、いつもこの3年間の取った写真を見ながら、学生生活の思い出がよみがえってきます。

<春>

私は、日本に来てから、一年間の始まりが春だと思うようになりました。しかも、一年間に春の筑波大学キャンパスも一番きれいだと思います。この写真は、一の矢宿舍の近くにあるさくらの樹です。筑波キャンパス内に数えられないほどのさくらの樹があります。しかし、さくらが咲いているかどうかに関係なく、一番きれいなのは、やはり一の矢宿舍の近くにあることさくらの樹だと思います。このさくらの樹に一人ぼっちなんですけれども、頑として屈しない気質というイメージを感じ取っています。なので、私は、気が挫けるときにこのさくらの樹から力がもらえるといます。



<夏>

筑波大学宿舍の周りにかわいいネコちゃんたちがいます。ネコちゃんののんびりしている様子を見て、ホームシックの心を癒すことができますと思います。特に、夏になると、ネコちゃんたちがいつも集まって、ひなたぼっこをしています。たぶん、地震が起きている時にも、ネコちゃんたちも焦らないと思います。このような何でもスピードを求める世の中で、ネコちゃんみたいな焦らない心をもっと大切なのだとみえます。私は、いつ経ってもきっとネコちゃんの焦らない様子が忘れられないと思います。



<秋>

私は所属している生涯学習・社会教育専攻が毎月「地域と教育研究会」が開催しています。研究会のメンバーは、2年前から秋に、調査先が開催する餅つき大会に参加しました。餅つき大会後の食事会で手作りの餅を食べたり、豚汁を食べたりするのが、秋の気分を強く感じます。地元の味を味わうことができるのは、留学生がなかなか経験できないと思います。



<冬>

中国の新年は、旧暦の新年を過ぎます。旧暦の新年になる時、日本に来てからはいつも友達と一緒に年越しの食事会をやりま



す。中国では今まで、ずっと家族と一緒に新年を迎えてきました。にぎやかで、とても楽しかったです。しかし、日本に留学している間に、実家に帰られない友だちが集まって、自分なりのお祝いをしています。右側がこの2年間の年越しの食事の写真です。左の方が果物ばかりです。日本に来てから、果物が高い値段で、贅沢な食べ物だと思えるようになってきました（笑）。右の方が、

先輩と一緒に作った故郷の料理です。シンプルな料理だけでも、十分に新年を迎える気持ちになりました。

筑波大学に留学している間に、どの季節でも、忘れられない思い出があります。これは、私にとって、一生の宝物だと思います。私は、この3年間余りにつらいことにあった時もありますが、とても貴重な人生経験だと思います。

(人間総合科学研究科 教育学専攻 干森)

3 宿舎ニュース



みなさんは宿舎の思い出といえばなにが最初に思いつきますか？狭い部屋、初めての自炊など、いろいろあると思いますが、中でも共同浴場をめぐってはいろいろな思い出がある方が多いのではないのでしょうか。そんな長らく筑波大生の生活を支えた宿舎風呂ですが、来年度から大幅に営業を縮小することになりました。

主な変更点は浴場の数が減るということです。現在は一ノ矢・平砂・追越の共用棟で浴場が運営されていますが、来年度からは平砂以外の浴場の運営が停止されます。追越の学生は平砂出張もありませんが、一ノ矢民は絶望的ですね…。一ノ矢民じゃなくてよかった。

また、営業時間の短縮や消費税増税による料金の値上げも行われるようです（以下の表参照）。営業時間については、平日も早くに閉まってしまうというのが辛いですね。サークルなどで夜遅くまで活動して、それからお風呂でゆっくり疲れをとる、ということが今後はなかなかできなくなりそうです。また、料金についても10円の値上げで追い打ちをかけてきています。たった10円、されど10円。毎日利用すればそれなりに金額の差がでてきます。なんだか悔しいので、増税分の10円は絶対ギザ10では払わないと決めました。

	現在	平成 26 年度以降
営業時間	平日 17 : 00 ~ 23 : 30 土日祝 17 : 00 ~ 22 : 00	平日 17 : 00 ~ 22 : 00 土日祝 18 : 00 ~ 22 : 00
料金	170 円	180 円

営業時間の料金の変更点

今回の営業縮小は、やはり利用者が激減したことが原因だそうです。かくいう私も宿舎生活3年目という段階で居住棟内のコインシャワーの使用が主になり、浴場にはほとんど行っていませんでした。しかしこういうニュースを聞くと少しさみしく感じますね。最近めっきり寒くなったので、また浴場に通いだしてほっと温まるのもいいかもしれません。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 河原一愛)

④ 魅力満載！筑波山登山



筑波嶺の 峰より落つる 男女川

恋ぞつもりて 淵となりぬる

百人一首にあるこの歌をご存知の方も多いのではないのでしょうか。我らが筑波大学を見守るようにそびえる筑波山は、万葉の時代から歌に詠まれ、「西の富士、東の筑波」とも称される名峰です。そうはいても、実際に登ったことがあるという方は意外と少ないのではないのでしょうか？かく言う私も、麓にすら行かず4年になってしまいました。せっかく筑波大学に入ったんだから一度くらい登らねば！ということで今回は筑波山登山レポートをお届けします！

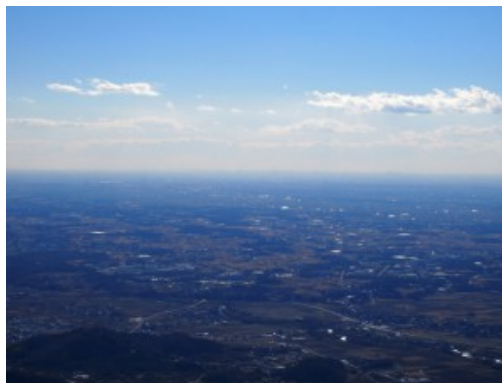
ある冬の晴れた日、デザイン担当を巻き込み登山を決行。今回登ったのは女体山です。つつじヶ丘駅という女体山の中腹にあるロープウェイの発着駅までバスで行き、そこから弁慶七戻りや高天原、胎内くぐりなど名所を巡って山頂を目指します。

つつじヶ丘駅に到着し、いよいよ登山開始！駅の目の前にいる大きなカエル像に手を振り、登山道に入ります。筑波山は日本百名山の中で最も標高が低く気軽に登れる、と聞いて軽～い気持ち決めた登山でしたが、意外に岩場が多い、道も狭い…。日ごろ運動をしていない、なまっただ体には結構こたえます。とはいえ、いい天気の中、すれ違う人たちの挨拶と振り返って見える絶景に癒されながら歩くのは気持ちがいいものです。休憩をはさみ、弁慶の七戻りに感動しさらに歩いて行くと、土浦の学生さんがたくさん下りてきました。どうやら部活の練習のよう。筑波大学にも、合宿などで筑波山を駆け上ったり駆け下りたりする部活があるとか…。読者の皆さんの中にも、そんな思い出を持ってらっしゃる方がいるかもしれません。

登山馴れしていそうな方々と何度もすれ違い、名所に感動し、のんびりのんびり歩いたり立ち止まったりを繰り返すこと約2時間…やっと山頂に到着です！風はあるものの快晴。霞ヶ浦、東京スカイツリー、富士山もはっきり見えます。寒くて仕方がないのになんと眺めていたいような景色…写真でしかお伝えできないのが残念でなりません！！

さてさて。今回の登山の目的は実はもう一つ。筑波山からの夜景です。筑波山ロープウェイではスターダストクルージング（※）という夜間運行を行っています。ロープウェイから見る夜景も絶景です！ただし、強風などの場合はロープウェイの運行は中止されるそう。運行されることを願いながらロープウェイの女体山駅で日没を待ちます。

屋内でぬくぬくしていると、何だか外に出て行く人が多い…こんなに寒いのになんで？不思議に思いついて行ってみると、夕陽をバックに富士山が綺麗に見えるではありませんか！青空の下で見る景色とはまた違った趣



があります。日本人でよかった、と思う瞬間です。夕映えの富士山に感動したのも束の間。あっという間に日没がやってきました。夕焼けから夕闇へのグラデーションの空に金星が輝き、富士山、街の明かりがとても美しいです。本当に、登った甲斐がありました。



展望台での景色を堪能し、ロープウェイへ。つつじヶ丘駅までの所要時間は、なんと約5分。最後の最後まで夜景を目に焼き付け、筑波山を堪能できました。

なかなか足が向かない筑波山ですが、行ってみると魅力満載！紅葉の季節だけでなく、冬の筑波山もとても素敵です。機会があったらぜひ行ってくださいね。

と、このまま無事に帰れたら良かったのですが…ひと波乱ありました。

ロープウェイを降りて、つつじヶ丘駅でバスを待ちます。スターダストクルージングの間中は19:30に一本だけつくばセンターに戻る臨時バスが出るのです。この日も行きのバスを降りた時にバス停をチェック、ホームページもチェックし、万事OKのはずでした。ところが、いくら待ってもバスが来ない…。ご存知の通り、つくばの夜は凍えるほど寒いです。それが山の中腹なので、その寒さは推して知るべし、と言ったところ。一緒に待っていた家族連れと交代で売店で暖まりながら待ちます。30分ほど経った頃でしょうか。件のご家族がバス会社に電話したところ、今日の臨時バスは急遽中止になったとのこと！なんで？どこにもそんなこと書いてないし知らされてないんですけど！電話して下さったご家族は、夕方にもバス会社に電話しており、その時は臨時バスの運行はあると言われていたよう。なぜ中止になったのか、本当に未だに謎です。結局、デザイン担当の彼氏さんに車で迎えに来ていただき、無事に帰宅できました。ご家族はタクシーを呼んだようです。事なきを得たので今では笑い話ですが、もしも帰る術がなかったと考えると…恐ろしい…。

前段落でぜひ行ってくださいね！と言いましたが、訂正して言い直します。防寒対策と、帰りの足もしくは宿の用意を万全にした上で、ぜひ行ってくださいね！

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 野川佳奈代)

※今年の運行は平成26年3月2日（日）までの土日祝日。2月までは金曜日も運行。

⑤ ゆるっと、つくば～癒され手帖～

冬です。

つくばにいて、思うことは、さみい、ということです。夜、例えば新宿、から、つくばに帰ってくる時、あまりの寒さに、自転車をそのへんに置いて帰ったことが何度もあります。ちゃんと、有料のところです。今も、四日前に駅前に止めたまんまで。六百円になります。

私はもう、春にはどうにも、ここにはいないので、この寒さも終わりです。それでも、みんなは毎日、自転車こいでくんでしょ、二十歳超えても、しもやけ作ったりして、って、ええなあ。と思うわけです。

なんとなく、じぶんが学内で最も好きな所へ行ってみました。

高い所は気持ちが良いです。

なんとなく、じぶんが学内で最も嫌いな所へ行ってみました。

落ち着きがなくて座ってられません。



そんなことより、さみいので、はよ春が来たら良いですね。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 小林加奈)



🍷 編集後記

卒業論文から解き放たれて、すがすがしい気分で冬号のお届けです！今回のあとがきは、卒業スペシャルと言うことで、この冬号で卒業するメンバーから一言ずつコメントをもらってきました。

私は、2011年のメルマガ秋号から、記事を担当し始めた。私にとっては、筑波大学のメルマガ記事を担当するのが人生の貴重な経験だと思います。そして、筑波大学のメルマガのおかげで、私は筑波大学の一員として活躍できたのが、この四年間の留学生生活のなかで、一番幸せなことです。そして、メルマガの他のメンバーにもいろいろお世話になりました。ありがとうございました。今後も、卒業生として筑波大学のメルマガに注目していきます。（干）

大学生活やってきた色々なことの一つ。経験が増えました。（岡山）

南下旅、私の大切な思い出になりました！メルマガ卒業、寂しい！（亀川）

ゆるい話に、お付き合い、ありがとうございました。ではでは。（小林）

サークルより楽しかったペデジャーなる、もう引退なんて・・・（関崎）

このまま春号にも携るような気がします(笑)引退が信じられない！（野川）

2011年の夏の立ち上げから携わっていたメルマガも今回で卒業。春号が届く頃には皆様と同じ読者の側にいるのですね…。未だに信じられません。ああ、ここでは思いの丈を書ききれない…！ということで、続きはブログで！

長い間お付き合いいただき、ありがとうございました！今後もペデジャーなるをよろしく願いたします。

🍷 おしらせ

ペデジャーなるのブログを開設しました。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。



「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」をよろしく願いたします。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

🍷 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🍷 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

🌀 筑波大学校友会SNS「KUTTUK ba」：<https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

🌀 編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🌀 デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久

情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥

🌀 ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日1-8-3筑波大学春日プラザ1階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

🌀 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.

